

令和6年度 学校経営計画書

1 スクール・ミッション

多様な生徒が、互いを理解し共に学ぶ定時制高校として、地域連携による探究・体験学習を通して、広く社会に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
次の資質・能力を育成する ① 社会生活の基盤となる基本的な学力 ② 多様性を認め、お互いを尊重し合う力 ③ 自分らしい生き方を主体的に選択できる力	次の教育活動を行う ① 学びの楽しさを実感し、より深い学びへの意欲を高める。 ② 個と集団の関係性や集団活動の意義を理解し、協働の精神を育む。 ③ 望ましい勤労観や職業観を身に付け、社会的・職業的な自立に向け、自分らしい生き方を探求する力を培う。	次の生徒を受け入れる ① 基礎学力の定着及び基本的な生活習慣の確立を目指し、目標を持って粘り強く努力できる生徒 ② 学習のみならず学校行事、部活動及び生徒会活動等に積極的に取り組むことができる生徒 ③ 「校内活動におけるキャリア教育」や「アルバイト等の校外活動」に積極的に関わり、自己のキャリア発達を促すことができる生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 授業改善に取り組み、基礎学力の確実な定着と探究活動の充実を図り、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- イ 集団活動や体験活動等を通して自己肯定感を高め、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、社会人として必要な知識や教養を身に付けさせる。
- ウ 望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるとともに、課題に直面したときに主体的な判断の下に行動できる力を養い、将来設計に基づいた自己決定ができる能力の育成を図る。
- エ 教員間で生徒情報を共有・共通理解を図り、指導・相談体制を充実させることで、生徒との信頼関係を築き、安全で安心して活動できる学習環境を整える。
- オ 地域と連携し、保護者の信頼に応えることができる学校づくりをする。
- カ 計画的かつ組織的に業務を遂行し、定時退勤、休暇取得を推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基礎学力の確実な定着と思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ力の育成を図るため、継続して授業改善に取り組むとともに、探究活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づいて、興味関心を引き出す教材開発、授業研究を行う。 ・声かけ、机間指導により、授業に臨む姿勢を身につけさせる。 	「授業を通して基礎学力が身についた」と思う生徒が95%以上 「先生は授業中に生徒一人一人の様子をよく見ている」と感じる生徒が95%以上	教務 進路 各教科

		<ul style="list-style-type: none"> ・評価や振り返りを通して、計画的に粘り強く学習に取り組む態度を育成する。 ・課題解決的な活動が発展的に繰り返されていくよう図書館や情報機器等を活用した学習活動の指導のあり方について研究を進める。 	<p>計画的に粘り強く学習に取り組んだ生徒が 90%以上</p> <p>自ら課題意識を持って取り組んだ生徒が 60%以上 図書館や情報機器等を利用して、意欲的に学習活動に取り組んだ生徒が 80%以上</p>	
イ	<p>学校生活の意義を理解させるとともに、集団における役割を果たすことを通して、社会性や自己肯定感の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所属集団において、個に応じた役割を与え、多様な他者と協働することの重要性などを実感させながら理解させる。 ・成功体験や自己の役割を果たすことで、自己肯定感の向上を図る。 	<p>学校生活に真面目に取り組んでいる生徒が 90%以上</p> <p>「人との係わりが増えた」と思う生徒が 90%以上</p> <p>自分に対して自信を持っている生徒が 90%以上</p>	各教科各担任
ウ	<p>社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を持って活動に取り組みせ、それを振り返ることで、在り方生き方を考えさせる。 ・学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、キャリア発達を促す教育の充実を図る。 ・総合的な探究の時間を中心に、キャリア教育及び進路指導体制を整える。 	<p>目標を持って学校生活に取り組んでいる生徒が 90%以上</p> <p>ポートフォリオの作成が、自分を振り返る機会になっている生徒が 90%以上</p> <p>将来の在り方や生き方について具体的に考えることができた生徒が 80%以上</p>	進路教務各担任
エ	<p>生徒指導の充実を図り、生徒との信頼関係を築くことで、安心・安全な学習環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の情報を的確に共有し、生徒理解を深め、適切な対応により生徒との信頼関係を築き、生徒が安心・安全に学ぶことができる環境を整える。 ・望ましい集団生活を通して、良好な人間関係を築く力を養い、心身の健全な成長を図る。 	<p>悩みを相談できる先生がいる生徒が 100%</p> <p>学校生活を通して人間関係の築き方を学ぶことができた生徒が 90%以上</p> <p>「学校は病気やケガ等の防止対策、発生時の対応が適切で安全だ」と思う生徒・保護者が 90%以上</p> <p>問題行動による生徒指導件数が 0 件</p>	生徒各担任
オ	<p>地域人材を講師とする講演会や公開授業等を通じて、地域・保護者の定時制教育への理解を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域、大学、専門学校等との連携及び協働により、教育活動の充実を図る。 ・保護者の期待に応えられる教育を推進する。 	<p>地域人材を講師とする教育活動を年 20 回以上実施。</p> <p>「学校は子どもの能力を向上させるよう指導している」と感じる保護者が 90%以上</p>	教務進路生徒

		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談、連絡等を密に行い、定時制教育への理解を得る。 	「北高定時制に入学させてよかった」と思う保護者が90%以上 学校を信頼している保護者が95%以上	
カ	業務の精選と効率化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の視覚化を図り、業務を見直し精選する。 ・ICTの活用等、業務の効率化を進める。 ・定時退庁日を設定する。 ・長期休業中に休暇取得推進日を設定する。 	業務の精選・改善・効率化を提案または実践した職員が85%以上 自身の役割を理解し、協力して取り組むことができた職員が85%以上 ワークライフバランスの実現に取り組んでいる職員が85%以上	教 務 進 生 路 徒